



有限会社 吉田工業

vol.25

2025年1月15日発行



新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年は、皆さんの行動姿勢に変化の兆しが見られた年でした。中途採用で新しく入ってきた社員への接し方が改善されたのは、一人ひとりに責任感に対する自覚が生まれてきた結果です。2025年も、皆さんとともに前へ進んでいきたいと思えます。

代表取締役 吉田 忠克

利益率向上に チャレンジした年

2024年は、売上げよりも利益率を重視して日々の業務に取り組んできました。幹部教育を通して、原価管理への意識を高めてもらったのもその一環です。現在、経常利益は約22パーセント上昇しており、営業利益であれば3割を超える月も出てくるなど、大幅な改善が見られます。元請企業の担当者とはねばり強い価格交渉を行ってきたことが、今回の成果につながりました。一方で、社員の原価管理の意識向上については、まだまだ道半ばの状態です。協力会社を選定する際にも、自分の好き嫌いだけでなく、技術力やコストパフォーマンスなど、あらゆる面から検討していくことが大事なのではないでしょうか。

また、昨年は会社の基幹システムをデジタル化しました。IT化についていけない社員もいるのではないかと心配していましたが、周りの人に操作方法を聞くなど、パソコンが苦手な人も頑張つて習得してくれており、頼もしく感じています。

現場での観察眼を養うために

2025年は利益率22%以上、離職率20%以下を目指していきます。利益率に関しては、交渉ごとを避けようとするあまり、相手に言われたままの価格で妥協してしまうケースも見られるため、もう

少し変化に際してはシビアに対応してほしいと思います。

そもそも、協力業者の皆さんの現場での取り組みをしっかり見なければ、正しい評価はできません。自分も相手も納得のいく正しい評価をしたうえで交渉を重ねていけば、必ず成果につながっていくはず。もちろん、元請けや協力業者との関係性も大切。良い関係が築けていけば、価格交渉も行いやすくなるでしょう。

将来に向けて、 ともに成長を

4月には、待望の新卒者が入ってくる予定があり、新卒入社1期生の誕生は、非常に嬉しい限りです。現メンバーの皆さんは自らの

成長に努めて、技術の面でも人間性の面でも、頼りがいのある先輩になってほしいと期待しています。会社では工事のマニュアルも作成していますので、それをベースにして新人への教育を充実させていきたいと考えています。

変化の激しい世の中ですが、その場の状況に柔軟に対応できるスキルを身につけて、力強く乗り切っていきましょう。

今年も安全最優先で「事故ゼロ、トラブルゼロ」を目指していきたいと思います。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。



2025年目標宣言



今年も役職者の皆さんから2024年の振り返りと2025年の目標について宣言いただきました！今回は若手社員へのエールも話していただいているので、それぞれが思う次世代に育ってほしい姿を、ぜひご覧ください。2025年も全社員一丸となって頑張りましょう！



2024年を振り返って

2024年は今まで経験のなかった配管工事の責任者を担当しました。わからないことだらけで、悩みながらなんとか工程に間に合わせる事ができました。いろいろと勉強できた1年だったと思います。

社員の仕事への姿勢

若手を育てるために、責任者たちは悩みながら頑張っていたと思います。みなさんにも、人を育てることができる職人になることを願っています。

役職者としての2025年の目標

2025年は無事故・無災害を目標に、1年間社員を守っていきます。

統括部長

きむら ひろゆき

木村博幸さん



目標達成のための行動計画

昨年度は、安全に対して手を抜いたり目をつぶってしまったりするもありました。2025年は厳しくしていきたいと思っています。

若手教育への思い

忙しい現場ばかりで教えている時間はありませんが、まずはコミュニケーションをとることが必要だと考えています。やる気を引き出し、仕事を楽しいと思ってもらえる環境を整え、やりがいのある仕事だと実感できるように、率先して動きます。



2024年を振り返って

売り上げ・利益ともに、業績では良い結果を残せました。2024年は、稼働人数が多かったため、いかにスムーズにやりやすく工程を進めることができるのかという計画とシミュレーションに注力。工程も遅れることなく、余裕を持って工事を進めることができました。

社員の仕事への姿勢

慣れない環境で、ルールや作業などいろいろな面で苦戦しながらも、吉田工業伝統のチームワークを活かして確実に作業をやりこなす姿を見ることができ、嬉しく思いました。

役職者としての2025年の目標

今まで経験のないことに挑戦してみたい！



建設工事部 部長

いしかわ たつひこ

石河達彦さん



目標達成のための行動計画

やはり「何事もチャレンジ」精神だと思っています。「これをやってみたい」と思ったことには、どんどん挑戦していきたいと思っています。

若手教育への思い

自分の価値観をなくし、一緒に考えることを心がけます。若手社員にはいろいろな発想力や発言力を身につけてほしいと思います。





工事一課 主任
みなとや しょういち ろう
湊谷 翔一朗さん



2024年を振り返って

2024年は社内環境の改善に努めました。私は出張など遠方での仕事が多く、社員間で会話する機会が少ないため、近況報告などの接点も作りましたが、どうしても話す機会のない社員もいます。もっと会話のある会社づくりを目指し、励みたいと思います。

役職者としての2025年の目標

目標は社員の笑顔を増やすことです。

目標達成のための行動計画

2024年に取り組んできたコミュニケーション増加の延長です。より良い雰囲気作りを実現し、社員みなさんの笑顔が増えるように頑張ります。

社員の仕事への姿勢

担当する現場の関係で、社員のみなさんと仕事をする機会が少ない1年でしたが、みなさんがそれぞれの目標に取り組んでいると聞いています。2025年は現場のみなさんとも一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



若手教育への思い

若手や新入社員には、リスキング研修にもっと参加してほしいと思っています。みなさんの能力向上に繋がる知識を教えているので、是非活用してください。



管工事課 課長
や まき しゅんすけ
八巻 俊介さん

2024年を振り返って 社員の仕事への姿勢

大きな労災や物損事故もなく仕事できました。

頑張ってくれて、大変ありがたく思っています。みなさん、2024年はお疲れ様でした。そしてありがとうございました。2025年もよろしくお願いします。

役職者としての2025年の目標

会社の業績アップはもちろんですが、「無事故・無災害・安全第一」で作業をすることが大切です。会社のため、まずこの目標を掲げて頑張ります。

目標達成のための行動計画

現場でのコミュニケーションを密に取りながら、不安全行為をしない・させないように声掛けを行い、作業にあたります。

若手教育への思い

会社が学びの場を設けてくださっています。できるだけ参加して、個人のレベルアップに繋げてほしいと思っています。



開発課 課長
こ ぼり まさる
小堀 勝さん



2024年を振り返って

売上等は特に突出したことはありませんでしたが、報連相をしっかりとる・安全第一をモットーに今年1年間特に問題なく終わらせることができホッとしています。

役職者としての2025年の目標

今年よりも会社の利益を上げるのはもちろんのこと、今年も無事故無災害を実施できたので来年以降も継続して行いたいと思います。

目標達成のための行動計画

元請との関係性をより深め関係性をさらに良くしていくのと、仕事上では、マンネリ化防止のためにも近道行動をせずやるべきことはきちんとやっていきたいと思っています。

社員の仕事への姿勢

まずは1年間、ありがとうございました。自分自身まだまだ未熟者ですが皆さんと共に成長していきたいと思っておりますので来年以降もよろしくお願いします！

若手教育への思い

どうしても離職率が高くなってきている昨今ですが、いかに会社に定着させるかを考える必要が出てきています。新入社員の気持ちをよく考え行動していきたいと思っています。



復興部
放射線管理課長
あつみ あきら
厚海 彰さん

2024年を振り返って

福島第一原発、放射線管理業務に携わって1年が経過しました。中間貯蔵よりも作業内容のレベルがさらに高く、仕事を成し遂げられるか不安がありました。現在は、メンバーとバックアップしながら、仕事を手際よく完了できるようになりました。

社員の仕事への姿勢

放射線業務の経験が浅いため、福島第一原発の案件に対応できるのか心配でした。当初は慣れない作業に疲れ切っている様子で、「仕事を辞めるのでは？」という不安も。しかし仕事に対する意欲が勝っていたようで、現在では見違えるように成長し活躍しています。



役職者としての2025年の目標

元請けである新日本空調株式会社からさらなる信頼を得て、工事中、放射線管理の人員を拡充することが目標です。

目標達成のための行動計画

さらなる放射線の知識や、元請会社が求めるスキルを習得します。現場での目標は、率先して風通しの良い職場を作ることです。

若手教育への思い

若手社員の中には、仕事に対する意欲が低い人、意欲はあるが失敗することを恐れる人などいます。それぞれの特徴や傾向、性格を見極め、その人に合った教育が重要だと考えています。



機械課 課長
まつもと あつし
松本 厚さん

2024年を振り返って

去年に引き続き、継続作業の古殿のバイオマス建設工事で、3月くらいに路面の凍結により物損事故を起こし、5月にはグラインダー作業において、眉間を切創する労働災害を起こり、8月には建設現場で熱中症に罹り、その現場では物損トラブルも起こり、品質と安全という事を注力していたのですが、私の注意力が欠けていた為、物損事故や労働災害に繋がってしまいました。

社員の仕事への姿勢

中途採用が多く全員と関われなかったけど、何人かとは一緒に仕事して、独自の個性がありやる気は見えたと感じています。

役職者としての2025年の目標

2024年は物損、労働災害を起こしてしまったので、2025年はそれを起こさない為に上司と相談し、意見を聞き取り入れて、自分の意見も相談していく年にしたいと思います。

目標達成のための行動計画

来年から海外の研修生が来る為、社員が増えるので社員育成に力を注いでいきたいと思っています。

若手教育への思い

自分は言葉での教え方が厳しいので、2025年はオブラートに包みながらも、的確に伝えられるように努力していきたいと思っています。





工事二課 課長
こまつ だいすけ
小松 大介さん



2024年を振り返って

今年1年、汚染水処理設備の撤去作業に努めてきました。事故や不適合を出さないように、ステップごとに安全対策を実施し作業を行いました。来年も引き続き安全作業で作業します。

社員の仕事への姿勢

皆さん真面目で素直で、こちらも色々と気づくこともあり勉強になりました。

役職者としての2025年の目標

2025年は、自分のスキルをアップさせ、会社に貢献できればと思っています。

目標達成のための行動計画

スキルアップの為に資格などを取得したいと思います。

若手教育への思い

わからないことや疑問に思ったことは、すぐに聞き理解してから作業を進めれば、成長も早いと思います。



上越事業所 課長
い が り ゆ う じ
猪狩 裕二さん

2024年を振り返って

今年1年取り組んだ事は、毎年同じ事になりますが、自分の現場では災害、不適合を起こさない、起こさせない事です。

社員の仕事への姿勢

社員の皆さんはそれぞれ配属された現場で新入社員や協力企業と一丸となり作業にあたっていました。

役職者としての2025年の目標

2025年も災害、不適合を出さない事を目標とします。具体的にはTBM-KY時に作業員との作業方法の検討や適正な人員の配置。

目標達成のための行動計画

仕事では、相手の立場になることが大事だと考えています。誰もが自分とは違う価値観や考え方、経験をもっています。自分が知っていることでも相手にとっては新しいことだったり、フレンドリーに接しても相手にとっては圧力を感じてしまったりする事があります。なので一人ひとりが違うということ意識して接することを心がけます。一人ひとりが違うことを前提に、相手の立場になってコミュニケーションをとりたいと思います。

若手教育への思い

分からない事、疑問に思った事は現場の上司に聞く事が大切だと思います。





2024年を振り返って

2024年は現場の責任者として、若手の育成に注力して取り組みました。どうやったらこの仕事に興味を持ち、楽しいと思ってもらえるかを伝えることが難しいと感じる1年でした。

社員の仕事への姿勢

今年も多く現場があった中で、大きな災害はありませんでした。それは、社員一人ひとりが安全第一に考えて作業した結果だと思っています。



建設工事部
機械課 主任
むらやま ひろと
村山 紘斗さん

役職者としての2025年の目標

来年は1人でも多くの若手にこの仕事のやりがいと楽しさを伝え、仕事に興味を持ってもらえるようにしていきたいと思っています！

目標達成のための行動計画

自分の技術の向上と、あまり怒らないように余裕を持って仕事をしていきたいと思っています。

若手教育への思い

若手が相談しやすいように穏やかな気持ちで仕事に取り組みます。



2024年を振り返って

一年間、怪我・事故問題がなく終わることができたことに加え、工程が延びることなく終わることができました。また、ギスギスせず、風通しの良い現場で仕事がしやすかったと感じています。

社員の仕事への姿勢

新入社員は分からないことがあれば、質問をしに来たりしてきて向上心が高かったと思います。この先の成長が楽しみです。



工事一課 主任
やまぐち くにひろ
山口 国広さん

役職者としての2025年の目標

一つひとつ与えられた仕事を丁寧にこなし、見本となれるよう行動していきたいと思っています。

目標達成のための行動計画

まだまだ分からないことがあるので、向上心を持って仕事に取り組んでいきます！

若手教育への思い

分からないことがあった場合、若手社員と同じ目線に立ち、一緒に考えてあげることが必要だと思っています。



